



JASDAQ

平成 26 年 4 月 4 日

各 位

会 社 名 ウチダエスコ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 江口 英則
(コード: 4699、東証JASDAQ)
問 合 せ 先 取締役常務執行役員
管理本部長 久保 博幸
(TEL047-382-4141)

(訂正) 「平成 25 年 7 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕
(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 26 年 2 月 27 日付適時開示「平成 26 年 7 月期第 2 四半期決算発表の延期に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 25 年 2 月 27 日付「平成 25 年 7 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕
(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には__を付して表示しております。

以 上

(訂正後)

平成25年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月27日

上場会社名 ウチダエスコ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 4699 URL <http://www.esco.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)武井 均
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員管理本部長 (氏名)久保 博幸 (TEL)047(382)4141
 四半期報告書提出予定日 平成25年3月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年7月期第2四半期の連結業績(平成24年7月21日～平成25年1月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年7月期第2四半期	5,886	△1.5	394	27.7	401	28.0	241	72.2
24年7月期第2四半期	5,978	10.1	308	△5.6	313	△6.4	140	△26.3

(注) 包括利益 25年7月期第2四半期 244百万円(76.1%) 24年7月期第2四半期 138百万円(△26.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年7月期第2四半期	67.06	—
24年7月期第2四半期	38.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年7月期第2四半期	7,739	3,219	41.6
24年7月期	7,906	3,029	38.3

(参考) 自己資本 25年7月期第2四半期 3,219百万円 24年7月期 3,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年7月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年7月期	—	0.00	—	—	—
25年7月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年7月期の連結業績予想(平成24年7月21日～平成25年7月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,400	1.6	710	18.7	720	17.8	430	44.4	119.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年7月期2Q	3,600,000株	24年7月期	3,600,000株
② 期末自己株式数	25年7月期2Q	3,473株	24年7月期	3,473株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年7月期2Q	3,596,527株	24年7月期2Q	3,596,527株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期の前半は中国などの主要新興国も含めた世界的な景気減速や円高の長期化などの要因により、輸出や生産が落ち込みましたが、期の後半に入り、海外経済の緩やかな回復や11月以降の円高調整等を背景に生産が持ち直すなど景気の先行きに改善の動きが見られました。

このような環境下、当連結グループは、クラウドコンピューティングに対応するサーバーやデスクトップ等の仮想化案件への取り組み強化など、「高付加価値技術戦略の推進（質の転換）」、「サービス・サポート品質の向上」、「経営基盤の更なる強化」を重点施策に掲げ、その着実な達成に向けて取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、中核のフィールドサポート事業が堅調に推移し、また、オフィスシステム事業及びソフトウェアサポート事業においても事業採算が改善した結果、売上高は58億8千6百万円（前年同四半期比1.5%減）、営業利益は3億9千4百万円（同27.7%増）、経常利益は4億1百万円（同28.0%増）、四半期純利益は2億4千1百万円（同72.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における事業別概況は次のとおりであります。

(フィールドサポート事業)

「量の拡大」（第一のエンジン）として、コンピュータメーカーやシステムインテグレーターへの営業強化、更なる生産性の向上を図ることにより、保守・ネットワーク構築案件の取扱量の拡大に取り組み、また、「質の転換」（第二のエンジン）として、CE（カスタマーエンジニア）のSE化の推進並びにクラウドコンピューティング市場に対応出来る仮想化技術者の増強を図り、仮想化案件の獲得に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、学校市場及び民間市場におけるICT関連受注を着実に獲得し、売上につなげるとともに、採算管理に努めた結果、売上高は36億5千9百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益は3億8千8百万円（同18.7%増）と増収、増益となりました。

(オフィスシステム事業)

きめ細かな販売促進活動による直接販売の強化、顧客ニーズに即したWebビジネス（Net 2 B）の推進による受注拡大並びに当社の有する様々なICT関連サービス&サポートを提供するワンストップの商談推進に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、OAサプライにおける大口顧客の売上減などにより減収となりましたが、採算管理の徹底、受発注業務のWeb活用によるコスト低減を図った結果、増益となり、売上高は16億3千万円（前年同四半期比3.3%減）、営業利益は3千2百万円（同25.8%増）となりました。

(ソフトウェアサポート事業)

市町村をはじめとしたサポート案件の受注拡大、生産性向上によるコスト削減、見積精度の向上並びにプロジェクトマネジメントシステム (Promise) の運用強化によるサポート品質の向上を課題に掲げ、取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、受注活動の強化に努めましたが、前期の大型の市町村サポート案件の反動もあり、売上減となりましたが、コスト統制に努めた結果、利益面では改善することができ、売上高は5億9千5百万円 (前年同四半期比22.0%減)、営業損失2千6百万円 (前年同四半期は営業損失4千3百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、77億3千9百万円と前連結会計年度末比1億6千6百万円減少しました。これは流動資産が、現預金の増加 (2億8百万円) 等はありませんでしたが、売掛金の減少 (4億円)、受取手形の減少 (7千8百万円) 等により1億9千4百万円減少し、固定資産が、敷金及び保証金の増加 (5千3百万円) 等により2千8百万円増加したことによります。流動負債は、未払法人税等の増加 (8千6百万円)、賞与引当金の増加 (5千7百万円)、前受金の増加 (5千1百万円) 等はありませんでしたが、買掛金の減少 (2億9千9百万円)、支払手形の減少 (2億5千6百万円) 等により前連結会計年度末比3億6千3百万円減少し、固定負債は、退職給付引当金の増加 (1千3百万円) 等により6百万円増加しました。純資産は、32億1千9百万円と前連結会計年度末比1億9千万円増加し、自己資本比率は、41.6%と前連結会計年度末比3.3ポイント上昇しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物 (以下「資金」という) は、前連結会計年度末比2億8百万円増加し、30億3千万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、3億3千6百万円 (前年同四半期は1億2千2百万円の減少) となりました。これは仕入債務の減少 (5億5千7百万円)、法人税等の支払 (9千9百万円) 等により資金の減少はありませんでしたが、税金等調整前四半期純利益 (4億1百万円)、売上債権の減少 (4億4千3百万円)、賞与引当金の増加 (5千7百万円)、減価償却費 (4千5百万円) 等により資金が増加した結果であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、7千3百万円 (前年同四半期は5千6百万円の減少) となりました。敷金及び保証金の差入 (6千4百万円) 等により資金が減少したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、5千3百万円 (前年同四半期は5千3百万円の減少) となりました。これは配当金の支払 (5千3百万円) により資金が減少したためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年7月期の連結業績見通しは、平成24年8月31日付「平成24年7月期決算短信」にて公表しました数値からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月21日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う損益への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(訂正報告書の提出について)

当社の不適切な会計処理について、当社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき過去に提出いたしました四半期報告書に記載されている四半期連結財務諸表に含まれる不適切な会計処理を訂正し、四半期報告書の訂正報告書を提出いたしました。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,821,230	3,030,153
受取手形及び売掛金	<u>3,037,813</u>	<u>2,558,498</u>
電子記録債権	—	35,616
商品	38,718	23,295
仕掛品	132,108	<u>154,461</u>
原材料及び貯蔵品	2,934	3,939
繰延税金資産	<u>167,280</u>	<u>196,476</u>
その他	57,736	60,178
貸倒引当金	<u>△1,976</u>	<u>△1,501</u>
流動資産合計	<u>6,255,846</u>	<u>6,061,118</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	<u>264,409</u>	<u>255,459</u>
工具、器具及び備品（純額）	56,947	44,836
土地	737,854	737,854
有形固定資産合計	<u>1,059,211</u>	<u>1,038,149</u>
無形固定資産	94,716	79,786
投資その他の資産		
投資有価証券	59,410	64,624
敷金及び保証金	110,299	164,176
繰延税金資産	<u>308,661</u>	<u>311,646</u>
その他	23,795	26,454
貸倒引当金	<u>△5,873</u>	<u>△5,981</u>
投資その他の資産合計	<u>496,293</u>	<u>560,919</u>
固定資産合計	<u>1,650,221</u>	<u>1,678,855</u>
資産合計	<u>7,906,068</u>	<u>7,739,973</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年1月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,647,404	1,091,491
短期借入金	310,000	310,000
未払金	168,162	135,471
未払費用	348,405	352,022
未払法人税等	113,646	200,092
前受金	1,020,779	1,072,127
賞与引当金	286,295	343,725
工事損失引当金	3,514	599
その他	98,748	128,303
流動負債合計	3,996,955	3,633,833
固定負債		
退職給付引当金	851,326	865,056
役員退職慰労引当金	17,943	11,208
長期未払金	10,252	10,252
負ののれん	325	162
固定負債合計	879,848	886,680
負債合計	4,876,803	4,520,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,000	334,000
資本剰余金	300,080	300,080
利益剰余金	2,398,902	2,586,122
自己株式	△1,303	△1,303
株主資本合計	3,031,679	3,218,899
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,414	559
その他の包括利益累計額合計	△2,414	559
純資産合計	3,029,264	3,219,459
負債純資産合計	7,906,068	7,739,973

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成24年1月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月21日 至平成25年1月20日)
売上高	5,978,602	5,886,486
売上原価	4,305,001	4,101,598
売上総利益	1,673,601	1,784,888
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	7,715	7,408
給料及び手当	598,530	606,970
賞与引当金繰入額	149,276	176,562
退職給付費用	57,890	49,515
役員退職慰労引当金繰入額	1,491	1,454
福利厚生費	51,975	52,350
賃借料	55,123	65,851
減価償却費	37,926	30,304
その他	405,102	400,363
販売費及び一般管理費合計	1,365,032	1,390,782
営業利益	308,568	394,105
営業外収益		
受取利息	76	108
受取配当金	1,467	2,971
受取手数料	2,322	4,066
受取保険金	1,425	—
負ののれん償却額	162	162
その他	1,397	2,989
営業外収益合計	6,852	10,299
営業外費用		
支払利息	1,342	1,419
その他	272	1,189
営業外費用合計	1,614	2,608
経常利益	313,805	401,796
特別損失		
固定資産除却損	590	244
特別損失合計	590	244
税金等調整前四半期純利益	313,214	401,552
法人税、住民税及び事業税	118,342	194,208
法人税等調整額	54,831	△33,824
法人税等合計	173,173	160,383
少数株主損益調整前四半期純利益	140,040	241,168
四半期純利益	140,040	241,168

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成24年1月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月21日 至平成25年1月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	140,040	241,168
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,432	2,973
その他の包括利益合計	△1,432	2,973
四半期包括利益	138,608	244,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	138,608	244,142
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成24年1月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月21日 至平成25年1月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	313,214	401,552
減価償却費	54,783	45,113
負ののれん償却額	△162	△162
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△459	△366
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△42,837	57,430
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△2,914
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17,791	13,730
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,491	△6,735
受取利息及び受取配当金	△1,544	△3,080
支払利息	1,342	1,419
受取保険金	△1,425	—
固定資産除却損	590	244
売上債権の増減額 (△は増加)	△239,279	443,400
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△24,674	△7,933
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26,186	△557,202
未払金の増減額 (△は減少)	△28,728	△32,295
未払消費税等の増減額 (△は減少)	289	28,399
前受金の増減額 (△は減少)	△70,945	51,348
その他	57,764	1,708
小計	10,995	433,654
利息及び配当金の受取額	1,816	3,180
利息の支払額	△1,271	△1,373
保険金の受取額	1,425	—
法人税等の支払額	△135,007	△99,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	△122,040	336,418
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35,540	△1,028
無形固定資産の取得による支出	△19,506	△6,923
投資有価証券の取得による支出	△705	△700
敷金及び保証金の差入による支出	△376	△64,601
敷金及び保証金の回収による収入	880	357
その他	△893	△691
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,141	△73,587
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△53,896	△53,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,896	△53,907
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△232,078	208,923
現金及び現金同等物の期首残高	2,838,398	2,821,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,606,319	3,030,153

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年7月21日 至 平成25年1月20日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年7月21日 至 平成24年1月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	<u>3,528,371</u>	<u>1,686,571</u>	<u>763,658</u>	<u>5,978,602</u>	—	<u>5,978,602</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	116,799	3,691	88,836	209,327	△209,327	—
計	<u>3,645,171</u>	<u>1,690,262</u>	<u>852,495</u>	<u>6,187,929</u>	△209,327	<u>5,978,602</u>
セグメント利益又は損失(△)	<u>326,948</u>	<u>25,583</u>	<u>△43,963</u>	<u>308,568</u>	—	<u>308,568</u>

- (注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年7月21日 至 平成25年1月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	<u>3,659,848</u>	<u>1,630,916</u>	<u>595,722</u>	<u>5,886,486</u>	—	<u>5,886,486</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	89,123	3,857	103,808	196,789	△196,789	—
計	<u>3,748,972</u>	<u>1,634,773</u>	<u>699,530</u>	<u>6,083,276</u>	△196,789	<u>5,886,486</u>
セグメント利益又は損失(△)	<u>388,159</u>	<u>32,181</u>	<u>△26,235</u>	<u>394,105</u>	—	<u>394,105</u>

- (注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年7月21日 至 平成25年1月20日）

該当事項はありません。

(訂正前)

平成25年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月27日

上場会社名 ウチダエスコ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 4699 URL <http://www.esco.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)武井 均
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員管理本部長 (氏名)久保 博幸 (TEL)047(382)4141
 四半期報告書提出予定日 平成25年3月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年7月期第2四半期の連結業績(平成24年7月21日～平成25年1月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年7月期第2四半期	5,894	△1.3	411	33.4	419	33.6	241	71.2
24年7月期第2四半期	5,969	9.9	308	△5.6	313	△6.4	141	△25.8

(注) 包括利益 25年7月期第2四半期 244百万円(75.1%) 24年7月期第2四半期 139百万円(△25.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年7月期第2四半期	67.19	—
24年7月期第2四半期	39.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年7月期第2四半期	7,755	3,243	41.8
24年7月期	7,909	3,052	38.6

(参考) 自己資本 25年7月期第2四半期 3,243百万円 24年7月期 3,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年7月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年7月期	—	0.00	—	—	—
25年7月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年7月期の連結業績予想(平成24年7月21日～平成25年7月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,400	1.6	710	19.1	720	18.1	430	44.3	119.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年7月期2Q	3,600,000株	24年7月期	3,600,000株
25年7月期2Q	3,473株	24年7月期	3,473株
25年7月期2Q	3,596,527株	24年7月期2Q	3,596,527株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期の前半は中国などの主要新興国も含めた世界的な景気減速や円高の長期化などの要因により、輸出や生産が落ち込みましたが、期の後半に入り、海外経済の緩やかな回復や11月以降の円高調整等を背景に生産が持ち直すなど景気の先行きに改善の動きが見られました。

このような環境下、当連結グループは、クラウドコンピューティングに対応するサーバーやデスクトップ等の仮想化案件への取り組み強化など、「高付加価値技術戦略の推進（質の転換）」、「サービス・サポート品質の向上」、「経営基盤の更なる強化」を重点施策に掲げ、その着実な達成に向けて取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、中核のフィールドサポート事業が堅調に推移し、また、オフィスシステム事業及びソフトウェアサポート事業においても事業採算が改善した結果、売上高は58億9千4百万円（前年同四半期比1.3%減）、営業利益は4億1千1百万円（同33.4%増）、経常利益は4億1千9百万円（同33.6%増）、四半期純利益は2億4千1百万円（同71.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における事業別概況は次のとおりであります。

(フィールドサポート事業)

「量の拡大」（第一のエンジン）として、コンピュータメーカーやシステムインテグレーターへの営業強化、更なる生産性の向上を図ることにより、保守・ネットワーク構築案件の取扱量の拡大に取り組み、また、「質の転換」（第二のエンジン）として、CE（カスタマーエンジニア）のSE化の推進並びにクラウドコンピューティング市場に対応出来る仮想化技術者の増強を図り、仮想化案件の獲得に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、学校市場及び民間市場におけるICT関連受注を着実に獲得し、売上につなげるとともに、採算管理に努めた結果、売上高は36億6千1百万円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益は3億8千9百万円（同17.5%増）と増収、増益となりました。

(オフィスシステム事業)

きめ細かな販売促進活動による直接販売の強化、顧客ニーズに即したWebビジネス（Net 2 B）の推進による受注拡大並びに当社の有する様々なICT関連サービス&サポートを提供するワンストップの商談推進に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、OAサプライにおける大口顧客の売上減などにより減収となりましたが、採算管理の徹底、受発注業務のWeb活用によるコスト低減を図った結果、増益となり、売上高は16億3千7百万円（前年同四半期比3.2%減）、営業利益は3千5百万円（同17.4%増）となりました。

(ソフトウェアサポート事業)

市町村をはじめとしたサポート案件の受注拡大、生産性向上によるコスト削減、見積精度の向上並びにプロジェクトマネジメントシステム (Promise) の運用強化によるサポート品質の向上を課題に掲げ、取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、受注活動の強化に努めましたが、前期の大型の市町村サポート案件の反動もあり、売上減となりましたが、コスト統制に努めた結果、利益面では改善することができ、売上高は5億9千6百万円 (前年同四半期比20.0%減)、営業損失1千3百万円 (前年同四半期は営業損失5千3百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、77億5千5百万円と前連結会計年度末比1億5千4百万円減少しました。これは流動資産が、現預金の増加 (2億8百万円) 等はありませんでしたが、売掛金の減少 (3億9千3百万円)、受取手形の減少 (7千8百万円) 等により1億8千3百万円減少し、固定資産が、敷金及び保証金の増加 (5千3百万円) 等により2千8百万円増加したことによります。流動負債は、未払法人税等の増加 (9千3百万円)、賞与引当金の増加 (5千7百万円)、前受金の増加 (5千万円) 等はありませんでしたが、買掛金の減少 (2億9千4百万円)、支払手形の減少 (2億5千6百万円) 等により前連結会計年度末比3億5千1百万円減少し、固定負債は、退職給付引当金の増加 (1千3百万円) 等により6百万円増加しました。純資産は、32億4千3百万円と前連結会計年度末比1億9千万円増加し、自己資本比率は、41.8%と前連結会計年度末比3.2ポイント上昇しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物 (以下「資金」という) は、前連結会計年度末比2億8百万円増加し、30億3千万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、3億3千6百万円 (前年同四半期は1億2千2百万円の減少) となりました。これは仕入債務の減少 (5億5千2百万円)、法人税等の支払 (9千9百万円) 等により資金の減少はありませんでしたが、税金等調整前四半期純利益 (4億8百万円)、売上債権の減少 (4億3千5百万円)、賞与引当金の増加 (5千7百万円)、減価償却費 (4千4百万円) 等により資金が増加した結果であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、7千3百万円 (前年同四半期は5千6百万円の減少) となりました。敷金及び保証金の差入 (6千4百万円) 等により資金が減少したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、5千3百万円 (前年同四半期は5千3百万円の減少) となりました。これは配当金の支払 (5千3百万円) により資金が減少したためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年7月期の連結業績見通しは、平成24年8月31日付「平成24年7月期決算短信」にて公表しました数値からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月21日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,821,230	3,030,153
受取手形及び売掛金	<u>3,052,232</u>	<u>2,580,562</u>
電子記録債権	—	35,616
商品	38,718	23,295
仕掛品	132,108	<u>157,707</u>
原材料及び貯蔵品	2,934	3,939
繰延税金資産	<u>152,312</u>	<u>182,295</u>
その他	57,736	60,178
貸倒引当金	<u>△1,976</u>	<u>△1,501</u>
流動資産合計	<u>6,255,297</u>	<u>6,072,246</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	<u>270,888</u>	<u>262,157</u>
工具、器具及び備品(純額)	56,947	44,836
土地	737,854	737,854
有形固定資産合計	<u>1,065,690</u>	<u>1,044,847</u>
無形固定資産	94,716	79,786
投資その他の資産		
投資有価証券	59,410	64,624
敷金及び保証金	110,299	164,176
繰延税金資産	<u>306,199</u>	<u>309,101</u>
その他	23,795	26,454
貸倒引当金	<u>△5,873</u>	<u>△5,981</u>
投資その他の資産合計	<u>493,831</u>	<u>558,373</u>
固定資産合計	<u>1,654,238</u>	<u>1,683,008</u>
資産合計	<u>7,909,535</u>	<u>7,755,254</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年1月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,645,404	1,094,536
短期借入金	310,000	310,000
未払金	168,162	135,471
未払費用	348,405	352,022
未払法人税等	110,015	203,740
前受金	1,005,205	1,055,267
賞与引当金	286,295	343,725
工事損失引当金	3,514	599
その他	100,271	130,109
流動負債合計	3,977,274	3,625,472
固定負債		
退職給付引当金	851,326	865,056
役員退職慰労引当金	17,943	11,208
長期未払金	10,252	10,252
負ののれん	325	162
固定負債合計	879,848	886,680
負債合計	4,857,122	4,512,152
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,000	334,000
資本剰余金	300,080	300,080
利益剰余金	2,422,050	2,609,765
自己株式	△1,303	△1,303
株主資本合計	3,054,827	3,242,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,414	559
その他の包括利益累計額合計	△2,414	559
純資産合計	3,052,413	3,243,101
負債純資産合計	7,909,535	7,755,254

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成24年1月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月21日 至平成25年1月20日)
売上高	5,969,758	5,894,895
売上原価	4,296,308	4,095,006
売上総利益	1,673,450	1,799,889
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	7,715	7,408
給料及び手当	598,530	604,550
賞与引当金繰入額	149,276	176,562
退職給付費用	57,890	49,515
役員退職慰労引当金繰入額	1,491	1,454
福利厚生費	51,975	52,350
賃借料	55,123	65,851
減価償却費	37,707	30,085
その他	405,102	400,363
販売費及び一般管理費合計	1,364,813	1,388,142
営業利益	308,636	411,747
営業外収益		
受取利息	76	108
受取配当金	1,467	2,971
受取手数料	2,322	4,066
受取保険金	1,425	—
負ののれん償却額	162	162
その他	1,397	2,989
営業外収益合計	6,852	10,299
営業外費用		
支払利息	1,342	1,419
その他	272	1,189
営業外費用合計	1,614	2,608
経常利益	313,873	419,438
特別損失		
固定資産除却損	590	244
人事制度変更による一時費用	—	10,572
特別損失合計	590	10,816
税金等調整前四半期純利益	313,282	408,621
法人税、住民税及び事業税	118,342	201,487
法人税等調整額	53,811	△34,528
法人税等合計	172,153	166,958
少数株主損益調整前四半期純利益	141,128	241,662
四半期純利益	141,128	241,662

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成24年1月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月21日 至平成25年1月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	141,128	241,662
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,432	2,973
その他の包括利益合計	△1,432	2,973
四半期包括利益	139,696	244,636
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	139,696	244,636
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成24年1月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月21日 至平成25年1月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	313,282	408,621
減価償却費	54,564	44,894
負ののれん償却額	△162	△162
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△459	△366
賞与引当金の増減額(△は減少)	△42,837	57,430
工事損失引当金の増減額(△は減少)	—	△2,914
退職給付引当金の増減額(△は減少)	17,791	13,730
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,491	△6,735
受取利息及び受取配当金	△1,544	△3,080
支払利息	1,342	1,419
受取保険金	△1,425	—
固定資産除却損	590	244
売上債権の増減額(△は増加)	△227,596	435,755
たな卸資産の増減額(△は増加)	△24,674	△11,180
仕入債務の増減額(△は減少)	△26,186	△552,157
未払金の増減額(△は減少)	△28,728	△32,295
未払消費税等の増減額(△は減少)	△153	28,682
前受金の増減額(△は減少)	△73,342	50,061
その他	49,043	1,708
小計	10,995	433,654
利息及び配当金の受取額	1,816	3,180
利息の支払額	△1,271	△1,373
保険金の受取額	1,425	—
法人税等の支払額	△135,007	△99,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	△122,040	336,418
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35,540	△1,028
無形固定資産の取得による支出	△19,506	△6,923
投資有価証券の取得による支出	△705	△700
敷金及び保証金の差入による支出	△376	△64,601
敷金及び保証金の回収による収入	880	357
その他	△893	△691
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,141	△73,587
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△53,896	△53,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,896	△53,907
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△232,078	208,923
現金及び現金同等物の期首残高	2,838,398	2,821,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,606,319	3,030,153

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自平成24年7月21日 至平成25年1月20日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年7月21日 至平成24年1月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	<u>3,532,919</u>	<u>1,691,368</u>	<u>745,469</u>	<u>5,969,758</u>	—	<u>5,969,758</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	116,799	3,691	88,836	209,327	△209,327	—
計	<u>3,649,719</u>	<u>1,695,059</u>	<u>834,306</u>	<u>6,179,085</u>	△209,327	<u>5,969,758</u>
セグメント利益又は損失(△)	<u>331,656</u>	<u>30,396</u>	<u>△53,417</u>	<u>308,636</u>	—	<u>308,636</u>

- (注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年7月21日 至平成25年1月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	<u>3,661,117</u>	<u>1,637,300</u>	<u>596,477</u>	<u>5,894,895</u>	—	<u>5,894,895</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	89,123	3,857	103,808	196,789	△196,789	—
計	<u>3,750,240</u>	<u>1,641,158</u>	<u>700,285</u>	<u>6,091,685</u>	△196,789	<u>5,894,895</u>
セグメント利益又は損失(△)	<u>389,594</u>	<u>35,681</u>	<u>△13,528</u>	<u>411,747</u>	—	<u>411,747</u>

- (注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自平成24年7月21日 至平成25年1月20日）

該当事項はありません。